

令和4年度「山形学」第3回講座 実施報告書(HP版)

- ◆日時：9月11日(日) 9:00～16:45
- ◆会場：鶴岡市第3学区コミュニティセンター
見学先：大督寺(鶴岡市)、月山高原
- ◆テーマ：大テーマ「食」をめぐる山形の地域課題
第3回テーマ「食」をめぐる山形の地域課題Ⅰ
- ◆内容：講師：佐藤守氏(鶴岡市学校給食センター所長)
浦川修司氏(山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター教授)
石井光明氏(月山石井農場)
コーディネーター：小林好雄氏(「山形学」企画委員)
出席委員 本田氏・中川氏
- ◆プログラム
 - 9 : 00 出発
 - 11 : 00 大督寺 石碑見学、佐藤守氏解説
 - 11 : 30 講話① 佐藤守氏(30分)
 - 12 : 00 昼食
 - 12 : 40 講話② 浦川修司氏(40分)
 - 13 : 30 月山高原に向け会場出発
 - 14 : 00 石井光明氏の農場見学
 - 14 : 30 月山高原出発
 - 16 : 45 遊学館到着、解散

◆参加者数： 29名

◆主催：公益財団法人山形県生涯学習文化財団 後援：山形県教育委員会

◆当日の様子

第3回講座「食」をめぐる山形の地域課題Ⅰでは、庄内地方に着目し、山形の食の地域課題と新しい取り組みや解決策を、学校給食と「庄内スマート・テロワール」の二つの事例から学びました。はじめに、学校給食発祥の地、鶴岡市内の大督寺境内にある記念碑を見学し、鶴岡市学校給食センター所長の佐藤氏より、現代の子ども食堂にも通じる、明治時代の僧侶たちが宗派を超えて托鉢をして食料を乞い、子どもたちの食と教育を支えた当時の様子など解説していただきました。その後は会場に移り、改めて佐藤氏よりユネスコの「食文化創造都市」認定の鶴岡市が取り組む学校給食の今・昔について語っていただきました。豊かな給食を提供する一方で、年に一度は当時のメニュー、おにぎりや塩鮭、煮びたしの質素な食事をして感謝する日を設けているとのお話に関心する受講生が多かったです。

山形大学教授の浦川修司氏からは、山形大学農学部を中心に庄内地域で2016年から取り組んでいる「庄内食料自給圏構想(スマート・テロワール)」についてお話いただきました。地元の畜産農家を使用する飼料(じゃがいも、トウモロコシ等)を地元農家が作り、畜産農家は地元の食肉加工業者に出荷、食肉加工業者は地元の小売店に卸して、小売店が地元の消費者に販売する、循環型経済圏を目ざし、外国産に頼らずに食料自給率を高める取り組みについて、熱く語られました。365日食べたいウィンナーを作りたいというお話に、受講生からは、ぜひその商品を購入して先駆的な事業に貢献したいという声が多く聞かれました。また、圏外にどんどん出荷して販売を強化するのではなく、買いたい方はぜひ庄内に観光を兼ねて来て購入してほしいとの浦川氏のスタンスに、これまでの価値観とは全く違うものだと考えさせられました。

次に、月山高原に行って、実際に活動している農家の石井光明氏にお話を伺いました。澄み渡る青空の下、大きなトラクターを前に、作業を中断してお話ししていただきました。若者の就農者を増や

すためにも大規模農場を経営していきたい、法人化をしたいと将来の展望を語る石井氏の言葉には、単なる夢ではなくて、近い将来確実に実現できるのではないかと思わせる力強さがありました。農業に情熱を持って取り組む若い石井さんは非常に頼もしく、受講生たちからは、ぜひがんばってほしいとエールが送られました。

今山形が直面している子どもたちの食の課題、そして農家の高齢化、生産者の激減、食料自給率の低下等の課題解決に一石を投じる先進的な取り組み二例について考える大変有意義な講座となりました。

参加者の声

- ・大督寺さんでの学校給食発祥当時の様子の解説がとてもわかりやすかった。
- ・鶴岡市では「食文化創造都市・鶴岡」のPR活動ががんばっていること、学校給食に郷土料理や地元の食材だけで作った食事を提供したり、給食発祥当時の給食を再現した「おにぎり給食」など食育に力を入れていることがわかった。
- ・給食センター内での実際の調理・作業風景をVTRで見せていただけて良かった。
- ・「庄内スマート・テロワール」構想は、とても素晴らしい取り組みだと感じた。是非商品を購入して応援したいと思いました。
- ・「庄内スマート・テロワール」はまさに地産地消。この取り組みを全国に広げられたらと思いました。
- ・日本の食料自給率を上げる観点から、地域でどんな取り組みができるか、希望のあるお話が聞けました。
- ・生きることは食べること。世界が激変している中での鶴岡市の取り組みを学び、色々と気付くことが多かったです。
- ・浦川先生のご講話の中にあつた、生産者主導型から消費者主導型へ変わりつつあることを実感している。しかも消費者は生産者を育てる立場にあることを忘れてはならないと責任を感じるものになった。
- ・「庄内スマート・テロワール」って何だろうがすべて解決しました。しかも担い手の方々の力強い信念をも感じられるものでした。
- ・お弁当がとても美味しかった。
- ・月山高原の畑で働く石井さんの生のお話を聞くことができ、また実際の圃場を見学できて良かったです。
- ・若手農業従事者が大学と連携して、新しい取り組みにチャレンジしながら自立をめざしていることはとても頼もしいと思いました。

○当日の様子



